

地域経営学科【4年生】

学期	科目区分①	科目区分②	講義名称	教員名	単位数	担当教員の実務経験
前期	共通教育科目	一般教養科目群	心理学	西木 貴美子	2	児童相談所などの関係機関において実務経験を有する。 あわせて、大学における心理学分野の教育および学術研究に従事してきた。公認心理師。
前期	共通教育科目	一般教養科目群	人権論	中川 理季	2	過去に6年弱の間、ある地域のまちづくりに取り組むNPOに職員として在籍し、その間、当該地域についての歴史資料の整備やまちづくりに携わった。その資料整備やまちづくりに、人権・差別に関する側面があった。
後期	共通教育科目	一般教養科目群	多変量解析	神谷 達夫	2	各種社会調査に参加。
前期	共通教育科目	一般教養科目群	歴史学	小山 元孝	2	・自治体史編纂 ・近代公文書、学校資料の調査 ・仏像・仏画など寺院所蔵資料の調査 ・地域に残る祭礼や風習などの調査 ・社寺建築調査
前期	共通教育科目	全学共通科目群	地域資源論	谷口 知弘	2	ワークショップ手法を活用した対話の場づくりの企画・運営に参画（京都市他）
後期	共通教育科目	全学共通科目群	経営情報システム論	神谷 達夫	2	コンピュータシステムの設計
後期	共通教育科目	全学共通科目群	社会保障論	川島 典子	2	元産経新聞大阪本社編集局社会部記者。
前期	共通教育科目	全学共通科目群	社会福祉論	川島 典子	2	元産経新聞大阪本社編集局社会部記者。
前期	共通教育科目	全学共通科目群	観光総論	中尾 誠二	2	農林水産省の財団勤務18年
後期	共通教育科目	全学共通科目群	観光情報学	山本 吉伸	2	観光地でのシステム導入、調査研究の実施
前期	共通教育科目	全学共通科目群	地域福祉論	川島 典子	2	元産経新聞大阪本社社会部記者。
前期	共通教育科目	全学共通科目群	地域ベンチャー育成論	亀井 省吾	2	東京海上日動火災保険株式会社 投資部・金融開発部、ならびにベンチャーキャピタル代表として多数の国内外ベンチャー企業投資育成に従事。
後期	共通教育科目	全学共通科目群	地域文化論	小山 元孝	2	・自治体史編纂 ・近代公文書、学校資料の調査 ・仏像・仏画など寺院所蔵資料の調査 ・民俗調査 ・社寺建築調査
前期	共通教育科目	全学共通科目群	データサイエンス入門	畠中 利治	2	科学計測における検出限界や分析精度の評価（精度、特異度、第1種の過誤/第2種の過誤）
前期	共通教育科目	全学共通科目群	行政学入門	谷岡 慎一	2	中央政府、地方自治体において、行政実務経験を有する。
前期	専門教育科目	共通専門科目群	プログラミングI	神谷 達夫	2	コンピュータシステムの設計
後期	専門教育科目	共通専門科目群	プログラミングII	神谷 達夫	2	コンピュータシステムの設計
後期	専門教育科目	共通専門科目群	非営利組織論	杉岡 秀紀	2	講師は、自らNPOを立ち上げたことがあるほか、現在も多くのNPOで役員（NPO法人グローバル人材開発センター理事、NPO法人里山ねっと・あやべ理事、NPO法人京都丹波・丹後ネットワーク理事、NPO法人丹波ひとまち支援機構理事、認定NPO法人fasorabo京都外部評価者、NPO法人きょうとNPOセンターフェロー、一般財団法人地域公共人材開発機構理事、一般財団法人社会的認証開発推進機構評議員など）を務めている。そういった意味から机上の空論ではなく、現場から抽出されたエッセンスも伝えていきたい。
後期	専門教育科目	共通専門科目群	ガバナンス論	谷岡 慎一	2	中央政府、地方自治体において、行政実務経験を有する。
後期	専門教育科目	共通専門科目群	介護福祉論	川島 典子	2	元産経新聞大阪本社社会部記者。
前期	専門教育科目	専門科目群	地域協働論	谷岡 慎一	2	講師は、行政において地域協働政策に携わってきた経験を持つ。

地域経営学科【4年生】

学期	科目区分①	科目区分②	講義名称	教員名	単位数	担当教員の実務経験
後期	専門教育科目	専門科目群	経営戦略論	亀井 省吾	2	東京海上日動火災保険株式会社 投資部・金融開発部、ならびにベンチャーキャピタル代表として多数の国内外ベンチャー企業投資育成に従事。
前期	専門教育科目	専門科目群	地方自治論	杉岡 秀紀	2	講師は、行政（国）で働いた経験もあり、現在も国・広域自治体・基礎自治体様々な政策に研修講師、アドバイザー、委員として深く関与している。そういった意味から机上の空論ではなく、現場から抽出されたエッセンスに照射して、講義を進める。
後期	専門教育科目	専門科目群	ソーシャルデザイン	谷口 知弘	2	ワークショップ手法を活用した対話の場づくりの企画・運営に参画（京都市他）
後期	専門教育科目	専門科目群	税務会計	細見 祐介	2	公認会計士として約15年、税理士として約8年。法人税、所得税、消費税、相続税といった各税目を取り扱っている。
後期	専門教育科目	専門科目群	グローバルビジネス	亀井 省吾	2	東京海上日動火災保険株式会社 投資部・金融開発部、ならびにベンチャーキャピタル代表として多数の国内外ベンチャー企業投資育成に従事。
後期	専門教育科目	専門科目群	観光まちづくり論	谷口 知弘	2	観光地域づくりの計画策定に参画（岸和田市、久御山市） 福知山市観光地域づくりセンター戦略会議に参画 京都のミニツアー「まいまい京都」ガイド担当
後期	専門教育科目	専門科目群	交流観光政策論	中尾 誠二	2	農林水産省の財団勤務18年
後期	専門教育科目	専門科目群	交流居住論	中尾 誠二	2	農林水産省の財団勤務18年
前期	専門教育科目	専門科目群	公共政策論	杉岡 秀紀	2	講師は、行政（国）で働いた経験もあり、現在も国・広域自治体・基礎自治体様々な政策に研修講師やアドバイザー、委員として深く関与している。 そういった意味から机上の空論ではなく、現場から抽出されたエッセンスに照射して、講義を進める。
前期	専門教育科目	専門科目群	旅行業論	小畑 博正	2	1種旅行業勤務29年 総合旅行業取扱管理者
前期	専門教育科目	専門科目群	交流観光系特別講義I（半農半X論）	塩見 直紀	2	塩見 直紀（しおみ なおき） 半農半X研究所代表、Local AtoZ Maker 京都府綾部市生まれ。株式会社フェリシモに約10年在籍（人材教育、ソーシャルデザインなど）。1999年、33歳を機に故郷の綾部市へUターン。2000年、「半農半X研究所」を設立。21世紀の生き方、暮らし方として、「半農半X（エックス=天職）」コンセプトを30年前から提唱。コンセプトは政策（国、都道府県、市町村）にも反映され、半農半X本は台湾、中国、韓国、ベトナムでも翻訳され、国内外で講演、ワークショップをおこなう。 若い世代のXの応援のために、「コンセプトスクール」や「半農半Xデザインスクール」（農家民宿での1泊2日のワークショップ）、「綾部ローカルビジネスデザインスクール」、「スモールビジネス女性起業塾」（京都府事業、京都府北部対象）などをおこなってきた。閉校となった母校を拠点とする都市農村交流などをおこなうNPO法人「里山ねっと・あやべ」の設立スタッフとして、2000年からまちづくりにかかわる。綾部型のツーリズム、綾部里山交流大学、綾部市への移住促進、ブランディング、情報発信などをすすめてきた。半農半Xコンセプトからの発展で、「天職観光」「人生探求都市」「1人1研究所社会」といったコンセプトも提唱している。 2016年開学時より、福知山公立大学地域経営学部地域経営学科の特任准教授（担当科目：コミュニティビジネス、農林業・農村振興論、地域観光論、交流居住論、地域ゼミ、卒業研究など）を5年つとめる。2021年3月末より妻の故郷・山口県下関市に移住。2021年4月より、北九州市立大学地域共生教育センター特任教員として、学生の地域課題解決プロジェクト、プログラム開発などを担当（2022年3月まで）。総務省地域力創造アドバイザー（2012年～2026年）。 著書共著に『半農半X的 これからの生き方キーワードAtoZ』（単著、農文協、2023）、『塩見直紀の京都発コンセプト88～半農半Xから1人1研究所まで』（単著、京都新聞出版センター、2023）、『半農半X～これまで・これから』（共編著、創森社、2021）、『半農半Xという生き方【決定版】』（ちくま文庫、2014）、『半農半Xの種を播く』（共編著、コモンズ、2007）など。半農半X本は台湾、中国、韓国、ベトナムでも翻訳されている。 京都市立芸術大学大学院美術研究科博士後期課程（メディア・アート領域）単位取得退学。美術博士。博士論文テーマは「ローカルメディアアート～すでにそこにある豊饒な世界の再構築」。古典的編集手法「AtoZ」をローカライズ、「人と地域の魅力の可視化」をおこなう簡易な手法を開発し、Local AtoZを提唱。※参考 AtoZ専用サイト 地域資源から新しいアイデアを生み出す問題集「アイデアブック」も開発。福知山公立大生も故郷の市町村の問題集をたくさん制作している。 ※参考 アイデアブック専用サイト
前期	専門教育科目	専門科目群	地域農業システム論	中尾 誠二	2	農林水産省の財団勤務18年
前期	専門教育科目	専門科目群	農業経営論	張 明軍	2	以下のURLにて参照してください。 https://researchmap.jp/mingong9518539